

令和6年度 第1回大垣市子育て支援会議 会議録

- 1 日 時 令和6年5月14日（火）13:30～15:15
- 2 場 所 大垣市役所8階 大会議室
- 3 議 題
 - (1) 次期子育て支援計画策定の進め方について
 - (2) 次期子育て支援計画に係る施策検討について
 - ① こども家庭センターを中心とした支援体制について
 - ② 幼保園制度の整理等について
- 4 報告事項
 - (1) 子育て支援に関するアンケート結果の報告について
 - (2) こども・若者の意見の政策反映に向けた取り組みについて

5 出欠席の状況

(1) 出席委員（敬称略）

区 分	氏 名	役 職 等
学識経験者	光 井 恵 子	大垣女子短期大学幼児教育学科 学科長
	藤 岡 恭 子	岐阜協立大学 経済学部 教授
子育てに関し優れた識見を有する者	井 上 直 美	大垣市民生・児童委員協議会 主任児童委員会 会長
	早 野 雅 子	大垣市小中学校長会 南小学校 校長
	浅 野 弘 峰	大垣民間保育園連合会 みそぎ保育園 園長
	松 村 麻 里	大垣市PTA連合会 会長
	大 橋 奈麻輝	社会福祉法人 大垣市社会福祉協議会 事務局長
	三 代 広 子	大垣市子ども会育成連絡協議会 会長
その他市長が適当と認める者	安 田 典 子	特定非営利活動法人 くすくす 理事長
	沼 口 諭	大垣市医師会 会長
	三 輪 正 直	大垣商工会議所 専務理事
公募委員	村 橋 真喜子	連合岐阜西濃地域協議会 局員
	松 好 和 子	

(2) 欠席委員（敬称略）

区 分	氏 名	役 職 等
子育てに関し優れた識見を有する者	平 野 宏 司	大垣私立幼稚園連合会 キートスガーデン幼稚園 園長
	西 脇 諭 美	

(3) 事務局：18名

毛利 正人（こども未来部長）

新森 信市（子育て支援課長）

高嶋 博一（子育て支援課長 こども家庭センター担当）

小林 晋（保育課長）

木村紀代美（保育課長 幼保・要保護児童対応・子育て支援センター担当）

永井 康（子育て総合支援センター所長）

高木 康洋（子育て支援課 主幹）

箕浦 利仁（子育て支援課 主幹）

内山 良（子育て支援課 主幹）

渡邊 英佑（子育て支援課 主幹）

田中 宣光（保育課 主幹）

高木 明弘（保育課 主幹）

小泉 佳彦（男女共同参画推進室 主幹）

内藤 純子（保健センター 主幹）

田島 善之（社会教育スポーツ課 主幹）

高木 あや（学校教育課 主任指導主事）

松原 和彦（子育て支援課 主査）

服部夕里子（子育て支援課 主事）

6 傍 聴 3名

7 記録方式 要約

事務局	<会議冒頭あいさつ> ・委嘱について（該当の委員席に委嘱状を配置） ・議事進行については、会議規則第3条第2項の規定により、会長は、会務を総理し、支援会議を代表するとなっているため、以降の議事は会長が執り行う。
会長	・委員の出席状況について、2名欠席ですが、出席者が過半数に達しているため、会議規則第4条第3項の規定により、会議を進行します。 ・会議の会議録は、市のホームページで公開しますので、ご承知おきください。 ・それでは議題に入ります。「議題(1)：次期子育て支援計画策定の進め方について」説明をお願いします。
事務局	<「議題(1)：次期子育て支援計画策定の進め方について」説明>
会長	・ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。

委員	<意見無し>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見なしということですので、「議題(1): 次期子育て支援計画策定の進め方について」は原案通り承認いたします。 ・続きまして、「議題(2): 次期子育て支援計画に係る施策検討について ①こども家庭センターを中心とした支援体制について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<「議題(2): 次期子育て支援計画に係る施策検討について ①こども家庭センターを中心とした支援体制について」説明>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ・体系図について、保育園、幼稚園と記載いただいておりますが、こども園等もありますので、そういった園も含まれるような表現にさせていただけるといいかなと思います。
B委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先日民生・児童委員協議会主任児童委員会の中で、子育て支援課の方からこども家庭センターについて、子どもの妊娠から出産、その後の子育てまでもれなく支援するとお話を頂きました。その際に委員から、産婦人科医の不足の話題が出て、今出産の入院が4泊と、昔より期間が短く、出産後、まだ育児に自信がないという方のために、産婦人科でアフターケアがあるとのことで、ただでさえ産婦人科が少なくなっていて待ち時間が長くなっているなかで、産後ケアの部分で患者が増えるとなると、もっと混雑して大変と思うお母さんが増えるのではないかと、もっと産婦人科が増えればいけれど、という意見がありました。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科が増えればいいですが、なかなか増えるものでもないところがありまして、医師会としては今は開業していただけるように環境をつくっていかないといけないなと思っています。 ・産婦人科で診てもらえる内容についてですが、産婦人科で産後ケアしてもらうのが一番いいと思いますが、保健センターでも産後ケアの取組をやっていて、心的ケアやホームケアの部分で傾聴してもらえる環境があると思

D委員	<p>いますので、一極集中せずに、いろんな方に見てもらおうシステムは必要かなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な支援策に対しての窓口というか、実際やっていく人たちというか、場所、事業所に関しては、ファミリーサポート、エンゼルサポートとかいろいろあると思いますが、今話にあった産婦人科も含め、今あるものとは別に、民間に窓口を広げる予定はあるのでしょうか。個人的にエンゼルサポートに興味があって、市に聞いたところ、現在はシルバーさんに8時から17時まででお願いしていると聞きましたが、実際利用したい時間は8時から17時ではないんですよね。欲しい時間は30分だったりするんですが、先ほど産後ケアの話もありましたが、個人の助産師さん、開業助産師さん、元助産師、元保育士、元看護師といった方の活用といった形で、民間や団体へ、支援のサービスをお願いするということは検討されているのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現状におきましては、まだそこまでは検討しておりません。今後そういうお話があれば、相談させていただきながらという形になるかなと思います。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、子育て支援のエンゼルサポーター的な事業をやらせていただきたいとなった時に、シルバーまで待たないといけないんですね。今のエンゼルサポーターの制度として、非課税世帯や多胎家庭は利用料が免除されていたりしていると思いますが、その制度はそのまま残して、例えば夜間の時間をフォローしてくれるところがあって、そういったところに今シルバーさんに支払っているのと同じようにお金が出せるのであれば、働ける世帯も増えると思うんです。産後ケアを得意としていらっしゃる団体や個人の方が潜在的にいると思うので、そういった方々の活用というのも踏まえて、大垣市として公立のきちんとしたところも必要と思いますが、夜間や休日などを民間にというのも検討いただけるとありがたいです。
E委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援センター等の相談機関という言葉がありますが、地域子育て支援センターの役割、イメージ的なところについて、こども家庭センターが中心となって、地域子育て支援センターからの相談を受け止め、支援を行っていくのか、逆にこども家庭センターが中心となって受けた相談を

事務局	<p>地域子育て支援センターで支援していくのか、どのように相談をワンストップで展開していくのかについて、お聞かせ願いたいところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料中の具体的な支援策の中に、「保護者クラブ」という言葉が出てきていますが、これは地域移行クラブを意味しているのでしょうか。 地域子育て相談機関につきましては、国の指針として、中学校区に1つ設置が理想とされています。やはりこども家庭センターに直接連絡することについて、敷居が高いと思われる部分もあります。大垣市ですと11の中学校区があり、だれもが相談しやすいような体制というところで、現在保育園併設の地域子育て支援センターが6か所ありますが、そこが基盤となることができるのかというところはまだ今後の検討にはなりますが、そこを位置づけてきたらと検討しております。園児はそこで相談が出来ますし、園に通っていない方についても、相談があるかと考えています。 保護者クラブにつきましては、先ほどご指摘いただきましたとおり、部活動の地域移行の部分想定して記載をしております。
E委員	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な施策についてはこれからもっと膨らんでいくかと思えますけれども、ぜひここに大きなプランが出てくるといいかなと思えますし、基幹的な相談機能を持っているといったところは、本当に大事なところだと思いますので、身近なところで利用いただける相談機関と、中核となるこども家庭センターといった位置づけになっていくと良いのかなと思えます。高齢関係については、地域包括支援センターが各中学校区にあるということも踏まえ、そういったところと連携を取りながら、地域に根差したワンストップで応えられる相談窓口の成立を目指していただければと思います。
F委員	<ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援センター等の相談機関というところで、前回の会議でもこどもの居場所について話があったかと思いますが、子どもからの相談を受けることがあると思いますので、こどもの居場所をやっているところに相談員を派遣するとか、子どもが相談しやすい体制もとっていただければありがたいと思います。
会長	<ul style="list-style-type: none"> そのほかご意見よろしいでしょうか。
委員	<p><意見無し></p>

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、続きまして、「議題(2):次期子育て支援計画に係る施策検討について ②幼保園制度の整理等について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<p><「議題(2):次期子育て支援計画に係る施策検討について ②幼保園制度の整理等について」説明></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園化することで、定員設定は現在通り確保されるのでしょうか。 ・認定こども園化について、まず幼保園7園と牧田保育園、墨俣保育園を認定こども園というふうにお聞きしましたが、将来的に、公立の他の保育園や幼稚園等も認定こども園化していく計画なののでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・定員については、今までどおり確保していく予定でございます。 ・まずは小学校区に幼稚園がない校区の保育園の認定こども園化を検討していきたいというところと、既存の幼稚園についても、申込が少ないことにより廃園となる場合には、校区の保育園の認定こども園化の検討をと考えております。
G委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大垣市内で一番就労者が多いのはソフトピアジャパンで、現在3,000人ほどの方が働いており、ソフトピアジャパン、県に対して保育園、幼稚園を作ってほしいと要望しております。保育園等について、地域ごと、学校区ごとに整理していくのも一つかと思いますが、今働き方がかなり違って、共働きの世帯も多くなっている中で、就労先の近くに子どもが通えれば、何かあった時にすぐ駆け付けられるというのもあると思いますので、そういった視点で見て、計画いただけるとありがたいと思います。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園化を進めるということで、認定こども園化するとなると、定員が増えて、その分一人当たりの敷地面積が狭くなるということがあると思います。0歳児から5歳児までが同じ空間で暮らして生活するという部分で、可能かどうか、安全性はどうなのかというところで、小規模保育所の在り方についても検討が必要かと思います。 ・大垣市には小規模保育所が2園ありますが、0歳児～2歳児の受け入れ先が

	<p>少ないという話を聞きます。実際に利用の優先順位が高いのは、育休空けて働く保護者がいる家庭で、育休を取れずに、退職して子育てをしている家庭はなかなか入れず、子どもを預けて働きたくても働けないということがあります。特に9月以降に産まれた子については、翌年度まで待たないと入園できず就業できないという話を聞きますので、ただ認定こども園を増やすというのではなく、小規模保育所に関しても見直しをしていただければと思います。</p>
H委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼保園が認定こども園化することで、私たち市民、子どもたちは具体的にどのように変わることがあるのでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認定こども園を増やすということではなくて、学校併設の幼稚園が、子どもが少なくなって育ち合いの環境が確保できなくなるとやむを得ず廃園となりますが、その子どもたちについては、地域に園がなく、遠くの園に行かないといけないといった状況が考えられますので、身近にある保育園で子どもたちを受け入れられるように認定こども園にするということで、教育認定の子も身近なところに入っていけるということになります。 ・ 認定こども園化することで主に影響を受けるのは3歳児から5歳児と考えておきまして、小規模保育所でみていただいている0歳児から2歳児については、認定こども園化の影響は直接受けないのではと考えております。 ・ 認定こども園化することの市民への影響については、大きく変わることはないかと思っておりますが、現在の幼保園という仕組みは市の独自の形で、保育士養成課程で学ばれた新任の保育士さんが幼保園という制度に戸惑いを覚えるといったことがありましたので、そういったところや、事務の負担が軽減されるかと考えております。 ・ 令和3年度に、学識経験者を交えて、「大垣市の公立保育園・幼稚園等のあり方懇談会」を設置させていただき、大垣市の保育園、幼保園等の在り方について、議論いただく中で、幼保園という歴史は惜しいけれど、制度が複雑化している中で、認定こども園の制度に乗っかることも合理的ではないかという意見もいただいております、認定こども園化の検討を進めている次第です。
H委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の幼保園制度ですと、子育て支援の部分があまりカバーされていませ

	<p>んが、認定こども園では、「子育て支援を充実させること」が要件になっているかと思しますので、認定こども園化を進めていただいて、認定こども園が地域の子育て支援機関の役割を担っていけると良いのではないかと思います。</p>
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、保育料や保育時間について、2号認定、3号認定といった認定で決まっていますが、2号認定の中にも、標準時間認定と短時間認定の2種類がありまして、その2つで保育料、保育時間が少し変わってくるのですが、その認定方法に保護者の通勤時間と休憩時間が加味されないために、例えば歯科衛生士さんですと、朝は早くお迎えは遅いのに、お昼の休憩時間が長いために短時間認定しか受けられず、延長保育料を払わないといけないといった不平等さがありますので、今後検討していただけるとありがたいと思います。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地域によっても通勤時間等の取扱いが若干違うところありますので、今いただきましたご意見や受け入れる体制も踏まえ、整理していきたいと思えます。 ・先ほどご質問いただきました、将来的に全園を認定こども園化するのか、というところにつきまして、令和3年度の「公立保育の在り方懇談会」でもご意見いただき、幼稚園、保育園、それぞれの良さがあると思えますので、一律に全園を認定こども園化することは現在は考えておりません。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見よろしいでしょうか。
委員	<p><意見無し></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかにご意見なしということですので、「議題(2)：次期子育て支援計画に係る施策検討について ①こども家庭センターを中心とした支援体制について ②幼保園制度の整理等について」は原案通り承認いたします。 ・それでは、次に進めます。これより報告事項となります。 「報告事項(1) 子育て支援に関するアンケート結果の報告について」事務局から説明をお願いいたします。

事務局	<「報告事項(1) 子育て支援に関するアンケート結果の報告について」説明 >
会長	・ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。
委員	<意見無し>
会長	・ご意見なしということですので、次に進めます。 ・「報告事項(2) こども・若者の意見の政策反映に向けた取り組みについて」事務局から説明をお願いいたします。
事務局	<「報告事項(2) こども・若者の意見の政策反映に向けた取り組みについて」説明>
会長	・ただいま事務局から説明がありましたが、ご意見やご質問がございましたら、ご発言をお願いします。
H委員	・初めての取り組みで設定など大変だと思います。今回の意見を聴く会は、次期計画策定のための1回きりというのではなく、今後も子どもたちの声を聴き続けるため実施していくと解釈してよろしいでしょうか。
事務局	・そのとおりでございます。今回は初めてということもあり、試行的に実施を考えております。
H委員	・何度も実施していただくことで、子どもたちも言ってもいいんだなと思えると思いますので、今後もメンバーを変えて実施していただけるといいなと思います。
I委員	・こどもの意見を聴く会や、アンケート調査の実施など、素晴らしい取り組みを実現していただけて大変ありがたいと思います。 ・事前に行う子どもへのアンケート調査の結果を踏まえて意見交換会を実施する流れかと思いますが、対象者はどのように選ばれるのでしょうか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 対象を中学生と考えていますので、中学校ごとに出ただけならと思っ ていますが、学校からの推薦とするのか、希望生徒による立候補とするの か、学校と相談して進めていきたいと思っています。
H委員	<ul style="list-style-type: none"> 学校からの推薦となると、特定の子しか出てこないことが考えられるので、 いろいろな子が参加できるように、何をしゃべっても大丈夫だよ、恥ずか しくないよと伝えて、いろんな意見を聴いていただけるといいなと思いま す。
F委員	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの対象は小中学生となっていますが、高校生については考えて みえるでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> まずは試行的にということでは今回は考えておりました、当然こども基本法 では、高校生も対象になっておりますので、そこも視野に入れて、今後検 討していきたいと考えています。
J委員	<ul style="list-style-type: none"> 意見を聴く会や、アンケートの実施についての広報や周知については、い つ頃学校にお知らせいただく予定でしょうか。 学校ごとの推薦ではなく、志望する子どもたちによる参加の方向かと伺い ましたが、既に夏休みの事業について、募集の案内を頂いているものもあ りますので、早い段階でお知らせいただけるとありがたいです。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 中学校長会長へご相談させていただく日を近日予定していて、その後の中 学校長会を通じて、学校の方をお願いしたいと思っています。
J委員	<ul style="list-style-type: none"> 小学校の方に勤めていて、中学生の学習の具体的な進捗は把握していない のですが、小学生ですと、6年生の1学期で政治の勉強をしている中で、身 近な大垣市の市政であったり取り組みについて学んでいて、自分たちがど のように関わっていくかというような学習をしているかと思っておりますので、 今回の意見交換会では全員が意見を述べられるわけではないですが、子ど もたちが学校で学んだこと、考えたことを、市の主催の会議やアンケート で発することが出来るというのは、子どもたちにもいいことと思いま すし、市政にこどもの意見を反映させる新しい方法として進んでいけるとい いと思います。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校現場と行政で連携、調整しながら実施していただければと思います。 ・そのほかご意見よろしいでしょうか。
委員	<p><意見無し></p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で本日の協議事項は終了となります。ご協力ありがとうございました。 ・全体を通してご意見やご質問などございませんか。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援に関するニーズ調査結果の、小児医療体制の充実について、前回の調査に比べ、満足度が下がっているというところで、以前とは感染状況が違ってきていますので、注視していきたいと思っております。 ・小児夜間救急については、市民病院で実施していましたが、コロナ禍前から受診者が減少していて、従事できる医師も少なくなっており、現在休止しています。休日の診療については、急患医療センターで実施していますが、現場がパンクしてしまうこと、感染症流行時には、受診時の感染拡大を防ぐ観点から、現在予約制でやらせてもらっていて、今後の感染状況も見ながら、救急だけでなく、医療体制の充実ということを心がけていきたいと思っておりますので、よろしく願います。
F委員	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き家庭が多くなってきていて、子どもを預けるご家庭が増えている中で、保育園、幼稚園が見直されるのはありがたいんですが、ここで働く保育士の環境がしっかりしていないと、子どもを安心して預けられないということがありますので、こちらについても確認いただきたいと思っております。 ・こどもの居場所について、最近多く話題に挙がっていますが、特定の場所だけが居場所ではなくて、いろんなところに居場所と言えるところがあって、いろんな人に会って、話をしているうちに相談できるといったことがあると思っておりますので、そういった居場所を増やしていただけるといいと思います。また、子ども自身がそういう居場所があることを知ることがまず第一歩かと思っておりますので、周知についてもお願いしたいと思っております。 ・働き方が変わってきている中で、遠くの園に預けることになると、送り迎えや、何かあった時の対応で親も子も園も負担になってしまいますので、保育園の設置場所などについても、ご検討いただけるとありがたいと思います。

J 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校にもよりますが、多くの学校では児童数、学級数は減っていく一方で、支援を必要とする児童の数は増加傾向にあります。その中で、特に長子で初めて子育てをしている保護者の方は、不安に思われていることも多く、園や学校を通じて相談をしているところですが、やはりそういう子への支援の窓口や事業について、探していけばあるけれども、見つけられないということもありますので、広く皆さんに知っていただけると良いと感じました。
K 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権を大切にすること、子どもの意見を聴く会の実施について進めていただき、大変ありがたいなと思っております。定期的にこのような会を開いていただき、多くの子どもたちの意見を取り入れていただければと思います。 ・お母さん方から、親子バス事業や、医療費の助成など大変ありがたいとの声を多く聞いています。物価高騰が進む中で、給食費が負担になっているという声も聞いておまして、他の自治体では無償化が進んでいるところもありますので、ご検討いただけるとありがたいです。 ・中学校の部活移行について、保護者クラブということで、お母さん方の負担が大きくなっている状態です。指導者も少なく、子どもたちがやりたいと思っても、指導者がいないために受け入れをやめたところもあります。 ・子どもたちから、常設の居場所が欲しいという声も上がっております。長期休みに留守番をしている子が多くいますので、各地域への常設の居場所の設置をお願いしたいです。子ども食堂をはじめ、居場所は子どもだけではなく、妊婦さんや地域の方の受け皿になっておりますので、ご対応をお願いします。
L 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活状況調査の中で、「自分は家族に大切にされている」という設問で、小学5年生で約8割、中学2年生で約7割の子が「とてもそう思う」と回答しているのを見て、私が思っていた数よりとても多かったので、子どもたちが愛情の中で生活しているんだなとこのアンケートで分かりました。 ・第2子、第3子を作るかどうかの判断材料の一つに、お父さん、旦那さんが育児できるかというところがあるそうです。少子化で子どもたちが減ってきていますが、核家族化で、おじいちゃんおばあちゃんといった頼れる人たちが遠くにいて、誰に頼ったらいいのか分からず、第2子をあきらめて

<p>D委員</p>	<p>しまう家庭もあると思いますので、環境を整えてあげて、子育てみんなで頑張っていくよという姿を見せていけると、大垣市がまた盛り上がるんじゃないかなと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの意見を聴く会について、先ほどもご意見有りましたが、しっかりした子だけではなく、言いたいことが言えない子もいると思いますので、話しやすい雰囲気の中で、いろんな子が参加できる場になると良いなと思います。 ・11月に実施されたアンケートについて、子どもたち自身普段生活をしている中で、自分の家庭が貧困であるとか、自分がヤングケアラーであることに気付いていないと思います。アンケートに回答することによって、実は自分がやらなくてもいいことだったのかも、とか、誰かに助けを求めても良かったのかも、という気付きになって、子どもが知るきっかけとなって良いなと思いました。 ・3歳以上児の保育料が無料になって、子どもたちは居場所が出来て良いことと思うんですが、一方で、働きに出る必要のないお母さんには自由な時間が出来て、後者については賛否両論だと思うんですが。医療費無料など、無料にさせていただいてありがたいことはたくさんあるんですが、なんでも無料にしてしまうのは、与えられることに慣れてしまって、ありがたみがなくなるよね、といった意見もお母さん方との話の中で出ています。子ども食堂の活動をやっているのですが、その活動の中でも、経営者の方から、与えられることに慣れてしまうと、ありがたみを感じない、自分で考える力が伸びないことに繋がっていくので、無料で与えることの危険性を考えながら活動しなさいという話をいただいております。 ・社会全体で子どもたちを見守る仕組みづくりが必要だと思っていて、行政任せにせず、子育てが落ち着いた方、団体、企業、地域などが自分たちができる事を考えて、その上で行政にフォローしていただく形がいいのかなと思います。
<p>H委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の子育て支援サービスは充実していて、さまざま取り組みされていますが、保護者にサービスが知られていなかったり、使い方が分からなくて利用に繋がらないといったことがありますので、周知の部分に注力していかないといけないと感じています。

E委員	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の地域移行について先ほども話出ましたが、中学生への支援というところで、子育て支援課だけでなく、教育委員会とも連携して、幅広い形で支援していく体制が必要なのかなと思います。 ・社会福祉協議会の方でも「子どもの意見を聴く会」を実施しておりまして、もともとは小中学生を対象にしておりましたが、中学生は「少年の主張大会」という形で分かれて、今は小学生に参加いただいています。学校の方ではやはり働き方改革の側面があり、協力が難しいところもあるかと思ひますし、学校という区分ではなく、地域の子ども会とか、そういった区分など、違うカテゴリから参加者を募るとまたいろんな意見が出るかと思ひますので、参考にしていただければと思ひます。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村では、こういった子育て支援に関する会議は形式上になってしまっているところもあると聞きますが、大垣市はしっかり取り組んでみえて、素晴らしい支援の実施、検討されていてありがたいと感じております。 ・委員の皆さんから、地域の方々を知っていただけるよう、我々委員も働きかけが必要と思ひますので、よろしくお願ひします。
B委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は自治会をやらせていただひいて、4月の会議で町内の小学校卒業生が107人、入学生が66人と報告があつて、参加している皆さん40人もの差に驚いてみえて、地域の皆さんも不安に思つて見えるのを肌で感じました。今、生き方が多様化してひいて、子どもを産まない、持たない生き方が受け入れられてひいて、そうなると子どもを持たない家庭に促すよりも、子どもがひいる家庭にもう一人育てることを促すほうがいいのではないかと思ひことがあります。アンケートの結果で、「普段お子さんをみてもらひ友人・知人はひいますか。」の問ひに、未就学児の保護者だと81.1%の人が「ひいない」と答えてひいて、これが子どもが増えない一番の要因かなと思ひてひいます。先ほどこども家庭センターのご説明で、中学校区で子育て支援を考へているとのことでしたので、民生委員、主任児童委員は地域に根差した存在ですので、組み込んでいただひいて、一緒に支援してひけたらと思ひてひいますので、よろしくお願ひします。
G委員	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所の食品部会では、昨年度から子ども食堂への支援を行つてひいて、会員の方から、やはり地域で子ども食堂をやつてひいるところには

	<p>優先的に食品を提供したいけれども、それ以外のところから希望があると、先着順という形になってしまうと聞いていて、市の方で地域ごとに居場所が整理されているのであれば、商工会議所に提供いただければ協力したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今行政のサービスが多岐に渡っていますが、自助、共助、公助の考えがあって、まずは自助が、次に近くの人と支え合う共助、そして最後それでもどうしてもならないとなって公助になります。なんでも行政がやらなきゃいけないというのは違って、行政は行政の役割がありますので、それぞれのできる事、やるべきことをやっていく必要があります。 ・現在デジタル化が進んでいる中で、利用者へのつなぎとして一番いいのはやはりスマホで調べられるのがいいかと思っておりますので、そういったところを整備していただけると良いかと思っております。
I 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・質問になってしまいますが、このアンケート結果は公表されているのでしょうか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次期計画の策定のためのアンケートであり、現在策定の途中でありますので、計画策定の中で公表していきたいと考えております。
I 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・アンケートを見ることで子どもも保護者も知ることがあるかと思っております。 ・アンケートの中で、「子育てに関する情報の入手方法」について、大垣市は先駆的な支援も実施されているにも関わらず、「広報おおがき」が約7割で、市ホームページがガクッと下がって約3割、その他アプリやハンドブックなどは1割以下になっていまして、大垣市の子育て支援の情報を広げていくことが必要かなと感じました。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。委員の皆さんからいただいたご意見を参考に、次期計画の策定に向けて進めていけると良いなと思っております。 ・短大生と接している中で、愛着形成が未熟な学生は、やはり精神的になかなか安定しないというのを感じていまして、幼少期のころから、皆で支え合って子育てできる社会になっていけると良いなと感じております。 ・では、ここで議事進行を終わらせていただきます。ご協力いただきありがとうございました。それでは、事務局にお返しします。

事務局	・それでは、以上をもちまして、令和6年度第1回子育て支援会議を終了します。本日はありがとうございました。
-----	--